



「本格的に絵を描き始めて6〜7年かな」という亀井氏。個展を開くほどの腕前だ。「今年は政界の絵を描かなくちゃな。ガハハ」



アップ求めて西東...
**突撃! 週刊大衆
写真報道局**
第80回

「政界再編は俺がキーマン」 YKKKKの亀井静香が吠える

撮影/風祭忍
文/伊奈圭一郎

マスコミ各社の世論調査で麻生内閣の支持率は軒並み20%前半となり「危険水域」(自民党関係者)となった。今年は衆院の総選挙もあり「政界大乱世」は必至の様相だが、そのキーマンと見られている、国民新党代表代行の亀井静香衆院議員が本誌のインタビューで大いに吠えた!

「麻生内閣も自民党も死に体。100年に一度の危機といっておいて何もしていないんですからね。支持率が下がるのは当たり前。現状を打破しようと思っても解散権行使できる状況じゃない。いまやれば飛び込み自殺。9月の任期満了までいったら老衰死。まさに難破船だな」

永田町では現在、＼＼＼＼＼＼という言葉が飛び交っている。山崎拓前自民党副総裁、加藤紘一元自民党幹事長、菅直人民主党代表代行、亀井議員の4人を指すが、この4人が政界再編に向けて動き出した、との揣摩憶測が流れているのだ。その中心が亀井議員だともいわれている。

「総選挙で自民党は負ける。民主党が単独過半数になるか、国民新党など他党を入れて過半数になるかは分かりませんが、いずれにしても参院で民主党は過半数がないため、他党の協力がないと政治ができない」

と国民新党らが、政界のキャスティングボードを握ると解説する亀井議員。さらに加藤、山崎の両氏にハツパをかける。

「加藤さんは、自民党は賞味期限切れ」といってさすが、そんな物を国民に食べさせたら下痢をしちゃう(笑)。だったら山崎さんも自民党を出なくちゃ。賞味期限切れの党から選挙に出るのは国民への背信。あとは度胸があるかないか!」

と新党結成も視野に入れた行動を促す。そして民主党が第一党になれば、小沢一郎代表が総理大臣になることになるが……。

「人相も悪いし、性格も良くない(笑)。でも彼しかいないですよ。強者だけのための政治をしていた小泉政治の逆を、今の世界がやろうとしている時代ですからね。小沢代表でまとまるということ」

こう断言するのだ。疲弊した国民生活は待ったなし。政治のリーダーシップが求められる。

